

彩の歳時記

平成二十七年 三月

春はあけぼの やうやう白くなりゆく山際 少しあかりて 紫だちたる雲の 細くたなびきたる

「春は明け方がいい。だんだん白くなってゆく山際の空が少し明るくなり

紫がかった雲が細くたなびいているのがいい」

「春はあけぼの、夏は宵、秋は夕暮、冬はつとめて(早朝)」四季の美しさを見事に表現した清少納言の随筆『枕草子』の冒頭はあまりに有名。特に「曙・あけぼの」は現代も社名や商品名に多く採用されています。古くは「暁↓東雲↓曙」と順に夜が明けゆく様を表現、暁あかつきは日の出前の仄暗い時刻、東雲(しのめ)は闇から光へ移る夜明け前の茜色の空(曙(あけぼの)は「明け+仄」と趣深い日本語の豊穡さに思いを巡らせて春を感じてみたいものです。



三月の暦

弥生草木が生える月 弥生 花月・桜月・桃月。

三日 桃の節句(上巳の節句・ひな祭り)

元は三月始めに戸外で一日を過ごし身の穢れを洗い

流す平安時代の農村儀礼。人形で体を撫でて穢れを落とした後、海や川に流した。

桃が邪気を祓い長寿を保つとして桃の花酒を飲む。また貴族の子女らが天皇の御殿や装飾を模して遊び、厄除けしたことが内裏雛の由来。上巳は、三月の己(み)の日。

雛飾りつつふと命惜しきかな

星野立子【1903~1984】

鎌倉寿福寺の星野立子墓前の句碑

立子は高浜虚子の次女。中村汀女、橋本多佳子、三橋鷹女とともに女流四」と称された。



六日 啓蟄

「二十四節気」啓は啓く、蟄は「土中で冬ごもりしている虫」の意味で、大地が

暖まり冬眠していた虫が、春の訪れを感じ、穴から出てくる。

春寒き 寒暖計や水仙花 子規



十日 ◎東京都平和の日 都民が平和について考える日として1990年に制定。

●東京大空襲記念日 1945(昭和20)年、米軍B29爆撃機による爆撃で死者約10万人、焼失家屋約27万戸という、第二次大戦で最大級の被害を出した。「七十年の時が経つ。」

十一日 ●東日本大震災は、2011年(平成23年)3月11日(金)14時46分18.1秒、太平洋三陸沖を

震源としてマグニチュード9.0の地震発生。日本観測史上最大で世界でもスマトラ島沖地震(2004年)以来の規模。1900年以降でも四番目に大きな超巨大地震であった。死者・行方不明者は約一万九千人以上、建物は全壊・半壊あわせて三十八万戸以上。福島第一原子力発電所

のメルトダウン事故が発生。

十二日 お水取り 若狭から運ばれた水を奈良東大寺二月堂の本尊に供える。夜、鐘の合図で

籠松明(かごたいまつ)を手に僧が回廊を駆け抜け、その火の粉を浴びると除災になると多くの観衆で賑う。春の到来を告げる行事。



十四日 ホワイトデー 1978年にバレンタインのアンサーデーとして制定。砂糖の白に由来。

十八日 彼岸入【雑節】 この日を含めた七日間が彼岸。墓参(先祖供養)をする。

二十日 上野動物園開園記念日 1882年に開園 無料入園日。

二十一日 春分の日【二十四節気】春彼岸の中日。昼夜の長さがほぼ等しく「暑さ寒さも彼岸まで」というように寒さも和らぐ時期。

三月の歌

春一番 1976年 キャンディーズ 詞・曲・穂口雄右

1975年発売のアルバム『年下の男の子』に収録されていた曲で、

ファンやキャンディーズ本人たちの熱望によりシングル化。

腕時計、セイコー・エクシオールCMソング。

2012年に、制作した穂口が日本音楽著作権協会(JASRAC)

を退会したため、一部のカラオケ店で歌えなくなっている。



雪が溶けて川となって流れてゆきます
つくしの子がはずかしげに顔を出します
もうすぐ春ですね ちよつと気取って見ませんか
風が吹いて暖かきをはこんで来ました
どこかの子が隣の子を迎えに来ました
もうすぐ春ですね かれを誘ってみませんか
泣いてばかりいたって幸せは来ないから
重いコート脱いで出かけてみませんか
もうすぐ春ですね 恋をしてみませんか
略